

アトウトウミャンマー支援 ニュースレター 第2号 2021年12月5日

事務拠点 〒170-0003 東京都
豊島区駒込 1-28-8 駒込平和教会気付
アトウトウミャンマー支援
atutumyanmar@gmail.com

おもてなしの国の陰で

CWS Japan ディレクター 牧 由希子

私がミャンマー出身で仮放免中のAさんに出会ったのは、ある支援団体から紹介があった翌週のことでした。その時は、まさか自分が2週間後に入管に同行することになるとは思ってもみませんでした。入管の外国人収容所の話は最近ではメディアに取り上げられるようになりましたが、私が行ったのは、東京出入国在留管理局です。品川駅から海に向かって2キロほど離れ、この先は海しかない、出島のような場所です。

9月に初めてAさん宅を訪問し、その暮らしぶりを見た時に受けた印象は、「孤独」と「孤立」でした。多くの仮放免中の外国人は助け合って、ルームシェアしているという話を聞きますが、Aさんは10年以上も都内のワンルームに一人で暮らしていました。私と通訳同行したサンサン先生が家に上がるなり、Aさんは持っている書類の一切合切を出してきて、終わりのないストーリーを語り始めました。日本では、難民認定申請が3回却下されると一瞬にして在留資格を失い、不法滞在者として扱われ、全てのセーフティネットも失います。「一刻も早く在留資格を取得しなければ、この人の生命が危険になる」と、そこで、事の深刻さを知りました。ミャンマーの方々については2月の軍事クーデターにより緊急避難措置として在留や就労が特別に認められることになったので、その在留資格を求めて11月の出頭日を待たずに、私は入管同行デビューを果たしました。

行って分かったのは、「緊急」避難措置と言っても、申請者数が多すぎて、Aさんのような仮放免者はどうやら後回しにされてしまうことでした。仮放免者が向かう窓口は難民調査部門の1か所だけで、そこで、日本人の同行支援者は見かけません。

「日本人支援者が同行しても在留資格には影響しない」と他の支援関係者に言われ、へこんだこともありましたが、「やっぱり支援者が同行してきてるから・・・」と逆に入管職員の言葉に励まされることもあります。

廊下で待っていると、多くの外国人が、「なぜ自分の国に帰れないのか？」と入管職員に問いただされ、たどたどしい日本語で何とか答えようとしている姿をよく見かけます。

「おもてなしの国」日本で、多くの外国人がどのような恐怖を味わっているのか、多くの日本人に知ってもらいたいと思います。



(写真 11月期のミャンマー本国支援で購入された食糧)

ミャンマー本国 支援レポート

2021年10月～11月の間に、アトウトウからミャンマー各地への送金の総額は116万円となりました。数カ所、特に少数民族地域の方々、国内避難中の方々にも届くように、工夫をして送金しています。祈り会で報告されている通り、支援に携わる現地での奉仕者も、逮捕対象にされる危険もあります。小分けにして、継続的に連絡を取り合い、食糧、衣類、衛生用品、日用品など、リクエスト情報に応じて送金していただいています。

送金したお金で食糧を調達していただき一軒一軒配布していただいています。世界的にもそうですが、燃料が値上がりしていることと、買い出しの時に検問にかかり、支援用の買い出しとわかると、横取りされる危険もあるそうです。

札束の写真を報告用に載せるのは相応しくないとも考えましたが、事情があります。こちらは



ヤンゴン市内にある教会への送金分のお金ですが、このお金を扱った方々の顔が拡散されると、危険があるため、「物だけ」の写真を選んで報告します。そのことだけでも、2ヶ月前よりも状況が悪化していることを読み取ることができると思います。CDM参加者のため、また治療を受けることができない方々のために、支援金は手渡されています。

ミャンマー北部地域、中国との国境近くにあるシャン州モンコウにあるバプテスト派の教会の牧師からのお知らせでは、今、カチン族以外の方々

もこの地域に入ってきて避難をされています。キリスト教徒ではない方々は、寺院に行かないであえて教会を訪れ、そこで、寝泊まりをして戦禍を逃れているそうです。教会の会堂が避難所の働きをしており、衣食住の調達に牧師や信徒が懸命に奉仕をされているとのこと。10月、11月に分けて、この地域への送金をすることができました。寒冷地区でお布団の供給が間に合わず、リクエストをいただきました。配布時の袋に、アトウトウミャンマーのシールとして、イザヤ書から聖書の言葉を印刷したものを作って配布されたそうです。11月期に送金したお金は避難されている方々へクリスマスには普段手に入れることができなくなってしまう食事をぜひ提供したいと、今、食糧集めに奔走中との報告をいただきました。支援に直接携わる方々の安全を祈っていきたいと思います。



クーデターから300日を超え、ミャンマー国軍によって殺害された方々は1,300人以上、拘束された方は10,000人以上で、現在も8,000人近くが不当に刑務所に置かれた状況です。この間、祈り会で集中的に祈ってきたように、少数民族地域、キリスト者の共同体がある地域で空爆、放火が連続しています。

チン州 Thantlang 村の住民は病者を置いて村ごと避難をしましたが、その後も放火が続けられています。教会が燃やされた時、消化活動をしようとした牧師は銃弾によって殺された上に、身につけていたものを奪われ、指を切られて指輪まで取られました。その後も、いくつかの教会が燃やされています。

ミャンマーの現状については、毎週の祈り会で一週間ごとに更新したレポートもしています。ぜひ、祈り会へもご参加ください。

●船便発送●



祈り会、またアトウトウのフェイスブックページで呼びかけ、クチコミで広がったミャンマーへの物資発送を10月、11

月連続で行いました。ダンボール39箱分を発送。中身は、固形石鹸、衣類、マスク、医薬品、バスタオル、折りたたみ傘などです。他にも子どもたちが喜びそうな文具なども混ぜて梱包していただきました。ご協力ありがとうございました。1月にももう一回、船便を使う予定です。



日本にいるミャンマーにルーツを持つ方々への支援

●緊急支援●

8-9月期に新型コロナウイルスに罹患されたために食料買い出しが困難になった在日ミャンマー人の方々へ買い出し代行、配送、また仕事ができなくなり困窮されている方々への一時的な緊急支援を行いました。10月-11月期にも引き続きこの緊急支援を行いました。5月に発表されたミャンマー人を対象にした日本在留の「緊急避難措置」にもかかわらず、難民申請後、仮放免状態で就労できず、健康保険にも加入できないままていくつものサポートを重ね合わせて生活をされている方々との面談を行い、アトウトウからの緊急支援金と共に、入管、また地域行政や、民間の支援への繋ぎをしています。

数年にわたって2ヶ月に一度の仮放免の更新を続けてきた方の書類を見ると、こんなに長い間、審査を進めずに放り出したままで、どうやって生きていくことができるのだろうと悲しくなります。想像や共感が全くない制度に憤りを感じます。その憤りを個人的な感情として持つだけではなく、制度的な改変に向けて、一つ一つのケースにある根源的な問題

を暴いていくことの必要を感じています。引き続き、緊急支援と、生活上の相談を続けます。

●アトウトウ日本語サポート●

9月から始まった日本語学習のサポートは、12月末で第一期を終了します。それぞれのコースの方々と相談をしながら継続、またコースの変更で、日本語を学びたい方々に講座を提供していきます。現在、ミャンマー、カチン州にいる青年たちからも、オンラインでの日本語サポートを受けたいというリクエストがあります。賛同者の中で、日本語講座を担当いただける方は世話人までご連絡ください。

atutumyanmar@gmail.com

●大好評 ミャンマーふりかけ販売●

祈りのきっかけ、交流や相互理解に向けた活動として、手作りのミャンマーふりかけ約400袋を販売いたしました。注文は以下のフォームからお願いします。原材料は、唐辛子、玉ねぎ、ニンニク、干しエビ（ビーフバージョンもあります）、油、本出し、などです。手作りのため、受注、発送がすぐにできるわけではありませんが気長に、楽しみにお待ちください。1袋300円で、送料はご負担ください。引き続きよろしくお願いします。



←ふりかけ注文はこちら

(1袋で100円ほどのアトウトウへの献金となります)

●ミャンマーを覚える祈り会●

毎金曜日午後9時スタート（オンライン開催）申し込み不要。

ミーティングID: 835 4339 0368
パスコード: 540189

アトウトウミャンマー支援 会計報告 (21.9.25.-11.30)		
収入の部		
献金	119件 (141-260)	¥1,425,128
前月繰越金		¥280,170
合計		¥1,705,298
支出の部		
事務費		¥2,445
送金手数料	10月 (620) 、 11月 (665)	¥1,285
郵送料	チラシ発送代	¥1,160
本国支援		¥1,160,000
本国 支援金	Crisis Response Committee MIT	¥200,000
	Kachin お布団セット70組、食糧支援	¥100,000
	PKTS 食糧支援	¥100,000
	ビルマプラットフォーム マックスヘルプ	¥200,000
	Kachin 上着 + 食糧支援	¥100,000
	子ども・シングルマザー食糧支援	¥100,000
	Children Care Centre	¥100,000
	物品発送代金 (船便 2回 7箱 + 32箱)	¥260,000
在日ミャンマー人支援		¥244,000
在日ミャンマー人支援	物品販売材料費 (ふりかけ)	¥70,000
	緊急支援 (4組)	¥80,000
	国内CDM支援	¥90,000
	同行通訳支援 (病院2件)	¥4,000
支出合計		¥1,406,445
次期繰越金		¥298,853

アトウトウミャンマー支援へのご協力をありがとうございます。8月1日に創設されて以降、11月30日までで、3,249,978円の献金をいただきました。そのうち、2,462,200円をミャンマー本国へ送金、物資発送を行うことができました。日本に住んでいるミャンマー出身の方々への生活支援も継続しています。各団体、個人からの献金のみで、この働きを運営しています。世話人会は全員ボランティアです。クリスマス献金に、ミャンマーを覚えておささげいただければ幸いです。

郵便局備え付けの青色払込票 (振替口座宛) で **00190-4-119379 加入者名：外キ協**
 通信欄、もしくは、送金者のお名前の後ろに、「ミャンマー」と入れてください。